

# ルールはなぜあるの？

令和3年12月  
立川女子高等学校  
カウンセラーだより裏面

日本には、色々なルールがあります。日本国民全員が守らなければならないルールには法律などがあります。その他、学校には校則がありますし、会社には社則という決まりがあります。その他に家族で決めている「我が家のルール」がある家庭も多いと思います。



もし世の中に法律がなかったら、どうなるかを考えてみましょう。人を殺しても罰を受けなくて済むし、人のものを盗んでも、人をだましても、人を傷つけても罰せられないことになってしまいます。もしそうなら、私たちは安心して生活することが出来なくなってしまいます。法律は、私たちが不自由にしたり、しばったりするためにあるのではなく、私たちが安心して暮らすことが出来るようにと、作られてきたものです。一人ひとりが法律を守ることで、安心安全で平和な社会が作れます。安全が守られて始めて、私たちの自由も約束されることになります。

他のルールも同じです。「我が家のルール」は、子どもたちの安全を守るために、家族で作ったものでしょうし、同時に、子どもたちがきちんと社会のルールを守って自立した大人になるための練習として作られたものだと思います。

ルールを守れば、自分の身も守れます。立ち入り禁止の危ない場所に入ってしまうと、危険な目に遭うかもしれません。コロナ禍の今は、感染予防をすることで、自分の命が守られています。事故に遭わないためには、交通ルールを守ることも大切なことです。



他にもルールはたくさんあります。私たちが色々なお店に行った時には、客としてのルールがありますし、電車やバスの中、公園、劇場など、公共の場にもルールがあります。このルールを破る人がいると、周りの人は大変迷惑します。

ルールを守る人は、友達や家族など他の人に信頼されます。周りの人から信頼されれば、私たちの心もどんどん穏やかになっていきます。

学校にも校則があります。校則も、生徒の皆さんの学校生活を守るため、皆さんが楽しい学校生活を送ることが出来るようにするために制定されたものです。



校則を窮屈に感じることもあるかもしれません。しかし、皆さんが学校を卒業して社会に出て働くようになった時、社会のルールは校則よりもずっと厳しいものだと感じると思います。社会のルールを守り、安全と自由を手に入れて、素敵な大人になって欲しいと、先生たちは考えておられます。そのために、高校生の今から、しっかりルールを守る練習をする、という意味も校則にはあるかもしれません。

そう考えると、校則とは、皆さんの将来への期待を込めたものであり、皆さんを応援ためのもの、と言えそうですね。